



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社Orchestra Holdings 上場取引所 東  
 コード番号 6533 URL <https://orchestra-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 慶郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 五代儀 直美 TEL 03(6450)4307  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	11,887	39.9	906	94.5	918	98.8	519	87.1
2020年12月期第3四半期	8,494	26.4	466	26.0	462	22.7	277	31.9

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 741百万円 (81.8%) 2020年12月期第3四半期 407百万円 (93.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	53.06	52.90
2020年12月期第3四半期	30.33	28.30

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	8,822	4,749	47.0
2020年12月期	4,689	1,885	38.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 4,143百万円 2020年12月期 1,823百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,620	32.1	1,131	64.8	1,124	64.6	702	61.2	71.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社 (社名) ー

除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年12月期3Q	9,793,600株	2020年12月期	9,789,600株
2021年12月期3Q	97株	2020年12月期	97株
2021年12月期3Q	9,791,745株	2020年12月期3Q	9,157,012株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

技術進展が進むIT分野では、少子高齢化が進む中、今後IT人材不足がますます深刻化し、2030年には約45万人程度までIT人材の不足規模が拡大するとの推計結果が出ております。(出所:経済産業省委託事業「IT人材需給に関する調査」)

また、デジタルトランスフォーメーション(DX)のトレンドが進展する中、生産性の向上や業務の効率化を目的にクラウドファースト戦略を実行する企業が増える他、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行によって、「テレワークの導入」「デジタルビジネスの強化」などの喫緊の業務課題を解決するためにパブリッククラウドサービスを活用する企業も増加しております。2021年の国内パブリッククラウドサービス市場規模は前年比20.3%増の1兆5,087億円になると見込まれており、また2020年~2025年の年間平均成長率は18.4%で推移して、2025年の市場規模は2020年比2.3倍の2兆9,134億円になると予測されております。(出所:IDCJapan株式会社「国内パブリッククラウドサービス市場 産業分野別予測、2021年~2025年」)

デジタルマーケティング領域においては、2020年のインターネット広告市場が2兆2,290億円(前年比5.9%増:株式会社電通発表)となり、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による一時的な広告出稿の手控え等があったものの、他メディアよりも早く回復基調となることで、市場は拡大を続けております。またインターネット広告市場のうち、当社グループの主力サービスである運用型広告市場についても1兆4,558億円(前年比9.7%増:株式会社電通発表)とコロナ禍においても伸長を続けており、広告のデジタル化の流れは今後も続いていくものと判断しております。

このような環境のもと、デジタルトランスフォーメーション事業においては、引き続きクラウドインテグレーション分野の強化を進めるとともに、人材の採用育成による開発体制の拡充を進める等、当社グループにおける成長事業としての確立を推進してまいりました。デジタルマーケティング事業においては、主力サービスである運用型広告を中心に引き続き拡販を進めるとともに、MA/CRM支援を含むマーケティング全体の最適化を支援する体制を強化してまいりました。その他の事業では、プラットフォーム事業における新規ユーザー獲得のためのプロモーション施策を行うほか、新規事業への成長投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,887,555千円(前年同期比39.9%増)、営業利益906,703千円(前年同期比94.5%増)、経常利益918,924千円(前年同期比98.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益519,506千円(前年同期比87.1%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、一部の費用の配賦方法を各セグメントの実態に合った合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の利益又は損失の算定方法に基づき作成したものを記載しております。

#### ① デジタルトランスフォーメーション事業

当事業においては、事業開始からM&Aを推進し、同時にIT人材の採用を行うことで開発体制の拡充を進めてまいりました。IT利活用の多様化・高度化に伴い拡大するIT需要を取り込み、クラウドインテグレーション、各種Webシステム開発、スマホアプリ開発等の案件受注が順調に拡大しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,017,268千円(前年同期比23.0%増)、セグメント利益(営業利益)は330,454千円(前年同期比65.8%増)となりました。

#### ② デジタルマーケティング事業

当事業においては、インターネット広告市場が堅調に伸長する環境のもと、主力サービスである運用型広告を中心に、既存取引先からの受注額の増額や新規取引先の獲得が順調に推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,438,443千円(前年同期比48.2%増)、セグメント利益(営業利益)は1,257,037千円(前年同期比69.3%増)となりました。

#### ③ その他

その他の事業においては、「チャットで話せる占いアプリ「ウララ」を主力としたプラットフォーム事業や、タレントマネジメントシステム「スキルナビ」の開発・販売、新規事業などに取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は485,216千円(前年同期比34.0%増)、セグメント利益(営業利益)は20,864千円(前年同期は9,124千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて4,132,937千円増加し、8,822,027千円となりました。主な要因は、現金及び預金が3,129,525千円、受取手形及び売掛金が555,853千円、投資有価証券が311,839千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて1,268,396千円増加し、4,072,338千円となりました。主な要因は、借入金が208,020千円減少したものの、未払法人税等が734,429千円、買掛金が487,427千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて2,864,541千円増加し、4,749,689千円となりました。主な要因は、連結子会社である株式会社Sharing Innovationsの株式の一部を売却したこと等により、資本剰余金が1,670,810千円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が450,980千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期会計期間における新型コロナウイルス感染症による各事業への影響は極めて限定的であり、現時点では2021年9月21日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

一方で、新型コロナウイルス感染症は今後も多方面に重大な影響を与える可能性があると考えております。当社においても各事業への影響を注視し、業績予想に修正が必要と判断される場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,413,863	4,543,389
受取手形及び売掛金	1,674,888	2,230,742
仕掛品	19,477	14,583
預け金	145,511	191,349
その他	111,696	139,104
流動資産合計	3,365,438	7,119,167
固定資産		
有形固定資産	87,187	83,886
無形固定資産		
のれん	596,312	659,317
その他	11,860	7,678
無形固定資産合計	608,172	666,996
投資その他の資産		
投資有価証券	382,574	694,413
その他	245,717	257,564
投資その他の資産合計	628,291	951,977
固定資産合計	1,323,651	1,702,860
資産合計	4,689,089	8,822,027
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,272,728	1,760,156
短期借入金	28,000	-
1年内返済予定の長期借入金	233,360	233,360
未払法人税等	196,291	930,721
未払消費税等	134,992	176,833
賞与引当金	34,124	41,952
その他	339,576	432,066
流動負債合計	2,239,073	3,575,089
固定負債		
長期借入金	529,800	349,780
その他	35,068	147,469
固定負債合計	564,868	497,249
負債合計	2,803,941	4,072,338
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	194,578	194,614
資本剰余金	121,832	1,792,642
利益剰余金	1,426,921	1,877,902
自己株式	△102	△102
株主資本合計	1,743,231	3,865,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,441	278,801
為替換算調整勘定	382	△241
その他の包括利益累計額合計	79,824	278,560
新株予約権	26,803	154,565
非支配株主持分	35,289	451,505
純資産合計	1,885,148	4,749,689
負債純資産合計	4,689,089	8,822,027

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	8,494,295	11,887,555
売上原価	6,736,429	9,137,627
売上総利益	1,757,866	2,749,927
販売費及び一般管理費	1,291,746	1,843,224
営業利益	466,119	906,703
営業外収益		
受取利息	13	35
補助金収入	1,645	7,118
債務勘定整理益	-	6,665
その他	939	2,272
営業外収益合計	2,597	16,091
営業外費用		
支払利息	2,246	1,967
支払手数料	1,807	1,808
事務所移転費用	1,710	-
その他	645	94
営業外費用合計	6,409	3,870
経常利益	462,307	918,924
特別損失		
減損損失	1,936	-
特別損失合計	1,936	-
税金等調整前四半期純利益	460,371	918,924
法人税、住民税及び事業税	182,013	382,251
法人税等調整額	715	△6,355
法人税等合計	182,728	375,895
四半期純利益	277,642	543,028
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△64	23,522
親会社株主に帰属する四半期純利益	277,706	519,506

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	277,642	543,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130,137	199,360
為替換算調整勘定	160	△723
その他の包括利益合計	130,298	198,637
四半期包括利益	407,941	741,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	408,005	718,265
非支配株主に係る四半期包括利益	△64	23,400



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、連結子会社である株式会社Sharing Innovationsの株式の一部を売却したこと等により、資本剰余金が1,670,810千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,792,642千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デジタルト ランスフォー メーション 事業	デジタルマ ーケティング 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,444,317	5,687,987	8,132,304	361,990	8,494,295	-	8,494,295
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,175	4,649	12,825	-	12,825	△12,825	-
計	2,452,493	5,692,636	8,145,130	361,990	8,507,120	△12,825	8,494,295
セグメント利益 又は損失(△)	199,271	742,310	941,582	△9,124	932,457	△466,338	466,119

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラットフォーム事業、タレントマネジメントシステムの開発・販売、新規事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△466,338千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デジタルト ランスフォー メーション 事業	デジタルマ ーケティング 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,988,184	8,427,184	11,415,369	472,186	11,887,555	—	11,887,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,083	11,259	40,343	13,030	53,373	△53,373	—
計	3,017,268	8,438,443	11,455,712	485,216	11,940,929	△53,373	11,887,555
セグメント利益	330,454	1,257,037	1,587,492	20,864	1,608,356	△701,653	906,703

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラットフォーム事業、タレントマネジメントシステムの開発・販売、新規事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△701,653千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、一部の費用の配賦方法を各セグメントの実態に合った合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法に基づき作成したものを記載しております。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (取得による企業結合)

当社の連結子会社である株式会社デジタルアイデンティティは、2021年9月16日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社ばむの株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2021年10月15日付で全株式を取得いたしました。

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社ばむ

事業の内容：デジタルマーケティング事業

## ② 企業結合を行った主な理由

デジタルマーケティング人材の確保、新たな顧客獲得により、事業の成長を加速させることを目的としております。

## ③ 企業結合日

2021年10月15日

## ④ 企業結合の法的形式

株式取得

## ⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

## ⑥ 取得した議決権比率

100%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社である株式会社デジタルアイデンティティが現金を対価として株式を取得したことによるものです。

## (2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	570,000千円
取得原価		570,000千円

## (3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 2,200千円(概算)

## (4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

## (5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。